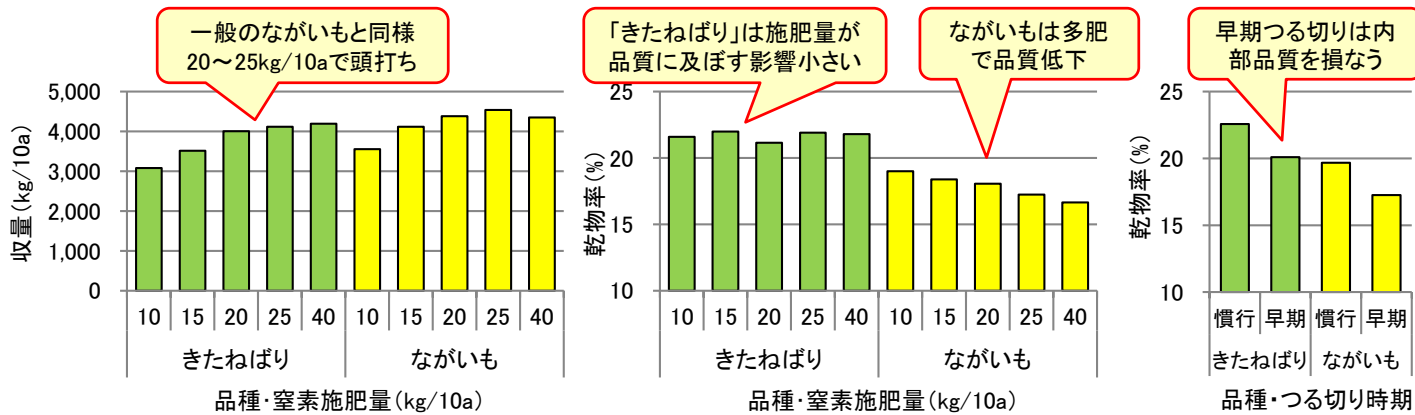
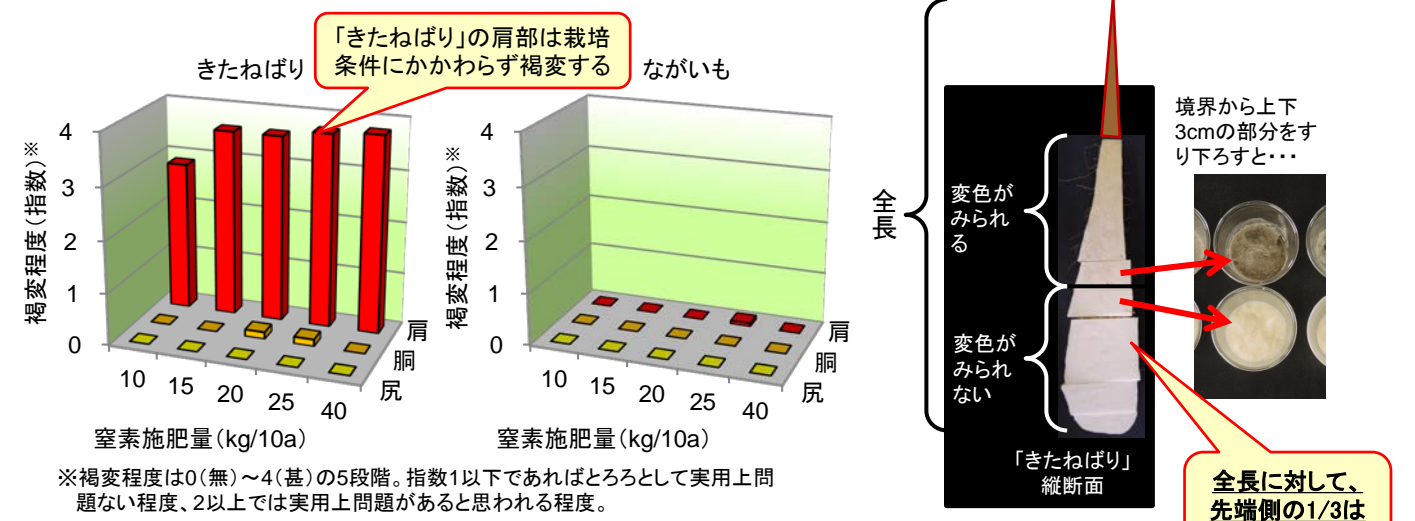


# 「きたねばり」の安定生産と有効活用に向けて

「きたねばり」は、①いもの乾物率が高く、とろろの粘りが強い、②ヤマノイモえそモザイク病に抵抗性である、③短根性である、などの特長を持つ新品种です。今後の普及と有効活用に向け、「きたねばり」の栽培面および品質面における基本的な特性を明らかにしました。



栽培条件(窒素施肥、栽植密度、切りもサイズ)は、既存のながいもに準じて設定する。早期つる切りや遅植えなどは内部品質を損なう恐れがあるため、ながいもと同様、各種基本技術を励行する。



いも全長の先端側1/3を使用することで、とろろ褐変の回避が可能。(その場合の重量歩留まりは約74%)

実規模加工試験において製造された「きたねばり」とろろの品質

	重量歩留まり (%)	粘度 (Pa·s)	同左比	Brix
きたねばり	58	5.1	211	9.2
通常生産品	60~65	2.4	100	7.1



ねばり(粘度)や糖度(Brix)の高い、高品質なとろろが製造された。(とろろは製パン副原料としても有望)。

